

ア 持続可能な開発（社会）

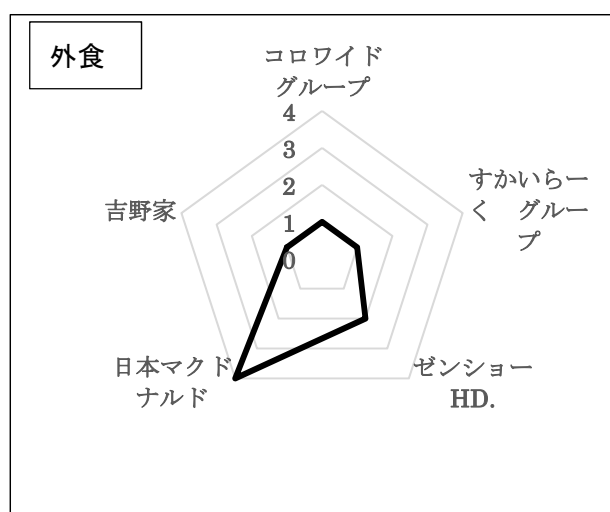
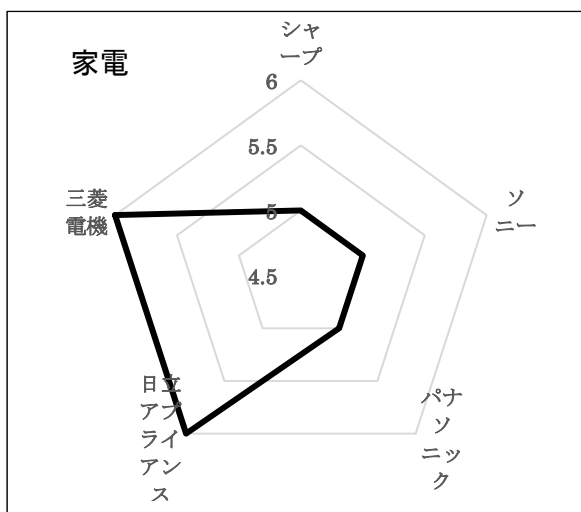
1. 質問趣旨と概要

昨今、持続可能な社会に関わる国際合意、基準・ガイドラインの策定、あるいは企業評価など、かつてないほどの企業への期待と注目が高まっている。「ア持続可能な開発（社会）」は、これらを背景に、持続可能な社会に向けた、サプライヤーを含めた企業の基本的な理念・方針、仕組み、教育等について聞いている。

「ア持続可能な開発（社会）」の具体的な質問項目は以下のとおりである。

<p>質問項目（※簡略化して記載）</p> <p>A.理念とビジョン</p> <p>1. 理念・経営戦略等に「持続可能性」をどう位置付けているか 2. 将来における持続可能な日本・世界の社会像における役割を明記しているか</p> <p>B.持続可能な社会、CSRをすすめるための基準等への参加</p> <p>C.SDGs</p> <p>D.ESD(持続可能な開発のための教育) ※持続可能な社会を担う人材育成</p> <p>1. ESD 研修 2. ESD の推進等</p> <p>E.持続可能な調達</p> <p>1. サプライヤーの把握 2. 苦情申し立て制度 3. 問題を把握した際の情報開示 4. 持続可能な調達 CSR 購入・調達ガイドライン等 5. サプライヤーへの持続可能な調達の適用 6. 購入・調達実績</p>
--

2. レイティング（全体）※企業の項目ごとのレイティングは別紙を参照



3. 調査結果

(1) 業種による差が大きい

家電の取組みが進んでいるが、外食は1社を除き、進んでいない

(2)家電のSDGsへの取組みが進む

■【家電】全ての企業が取組み

- ・担当部署の明確化・全社的体制の構築（三菱電機）
- ・17の目標とターゲットの中で優先課題を設定（4社）
- ・課題設定は正のみならず負の影響を考慮（日立アプライアンス）
- ・自社の事業活動への落とし込み（3社）
- ・社員研修（3社）

■【外食】どこも取り組みなし

ただし、日本マクドナルドはSDGsに言及はないものの、持続可能な社会への具体的課題への取組みあり

(3) ESD(持続可能な開発教育)の取組みは進んでいない

ただし、日本マクドナルドとパナソニックが積極的な取組み

<日本マクドナルド>	<パナソニック>
<ul style="list-style-type: none">・全従業員へのカリキュラム化された研修の実施・ESD活動実施のNGO/NPO、自治体、学校のサポート・協働・従業員向けパンフレット等の作成配布	<ul style="list-style-type: none">・従業員を対象としたワークショップの実施実績がある・ESD活動実施のNGO/NPOのサポート・協働

(4)「持続可能な調達」の態勢・実態ともに今後を期待

■基準・ガイドライン

- ・<家電>すべて何らかの基準・ガイドラインを持ち、公開している
- ・<外食>日本マクドナルドを除き、基準・ガイドライン作成なし・不明

■サプライヤーの把握

- ・ほとんどが把握していないか、一次調達先までの把握
- ・二次調達先まで把握しているのは家電3社
- ・サプライヤーリストを公開しているところなし

■苦情申し立て制度

家電の3社のみ。なお、パナソニックはホームページ上で14言語で対応

■問題を把握した際、そしてその結果の情報公開

- ・1社を除き、家電、外食とも公開しない方針

■サプライヤーへの持続可能な調達の適用

- ・2次調達先まで適用は3社、3次調達先まで適用は2社
- ・2社監査は3社、3社監査まで実施は1社
- ・結果の報告は3社
- ・対話・サポートは3社

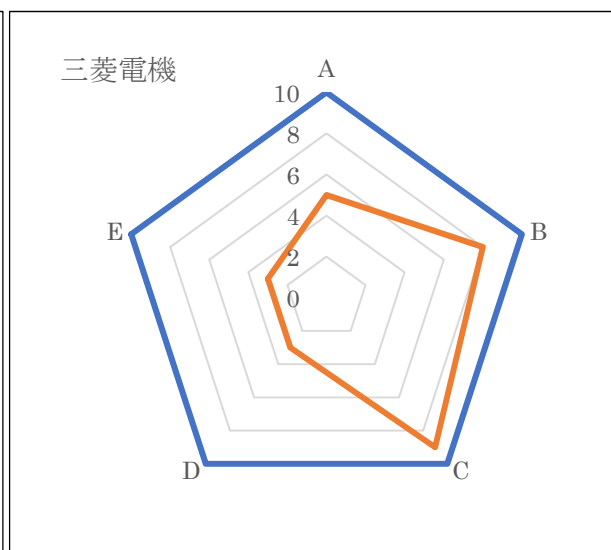
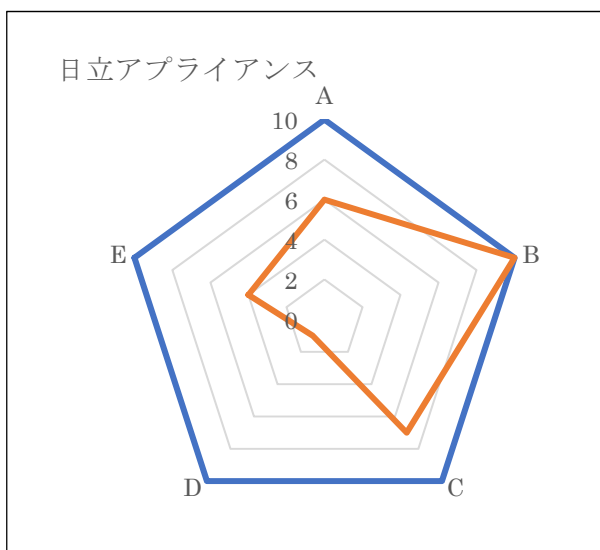
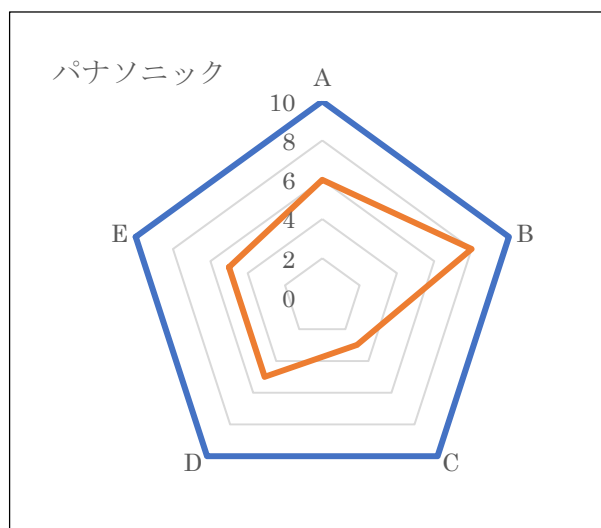
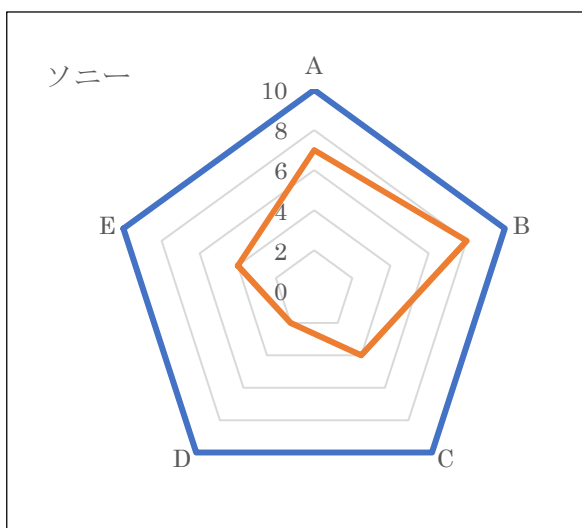
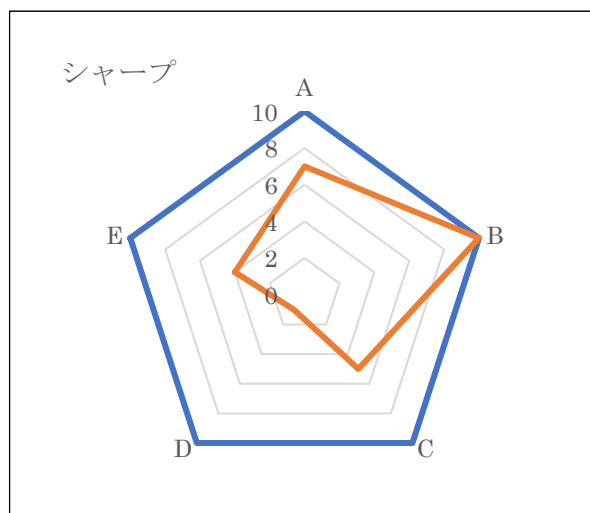
■購入・調達実績を公開しているところはない

別紙ア 持続可能な開発（社会） 企業の項目ごとのレーティング

<家電>

【質問項目】

- A. 理念とビジョン
- B. 基準等への参画
- C. SDGs
- D. ESD(持続可能な開発のための教育)
- E. 持続可能な調達



<外食>

【質問項目】

- A. 理念とビジョン
- B. 基準等への参画
- C. SDGs
- D. ESD(持続可能な開発のための教育)
- E. 持続可能な調達

